



新年明けましておめでとうございます。

昨年もこども園の幼児教育にご理解、ご協力を頂きありがとうございました。

発表会の折にもお話しさせて頂きましたが、認定こども園教育・保育要領の中で、子ども達に育みたい資質として「知識及び技能の基礎」「思考力・判断力・表現力の基礎」「学びに向かう力・人間性等」が唱われています。年長児では、発表会だけでなく日常の遊びや生活の中で子どもが友だちといっしょに考え合う機会を捉え、「どうしよう」と考え「こうしよう」と気づきもつとよくなるように工夫しアイディアを出し、友だちと認め合いながら進める経験ができるように援助しています。ただ、年長になれば突然できるようになるわけではありません。

思うように気持ちを言葉にできない未満児の頃から、気持ちに共感し「先生わかってくれる」という安心感を持たせながら言葉で「こうだったんだね」と代弁します。少しずつ言葉にできるようになったら「こうやって伝えてみたら」と伝え方を知らせ、同時に「〇〇ちゃん是这样子だと思ってたんだって」と違う考えがあることを知らせています。そして、相手の気持ちを聞いた時には、褒めています。その繰り返して、自分の思いを伝えることや相手の思いを理解することにつながってほしいと思っています。

それぞれの年齢にあった援助をすることで、資質・能力が育っていくよう本年も子ども達と関わっていきたいと思います。職員一同よろしくお願いたします。

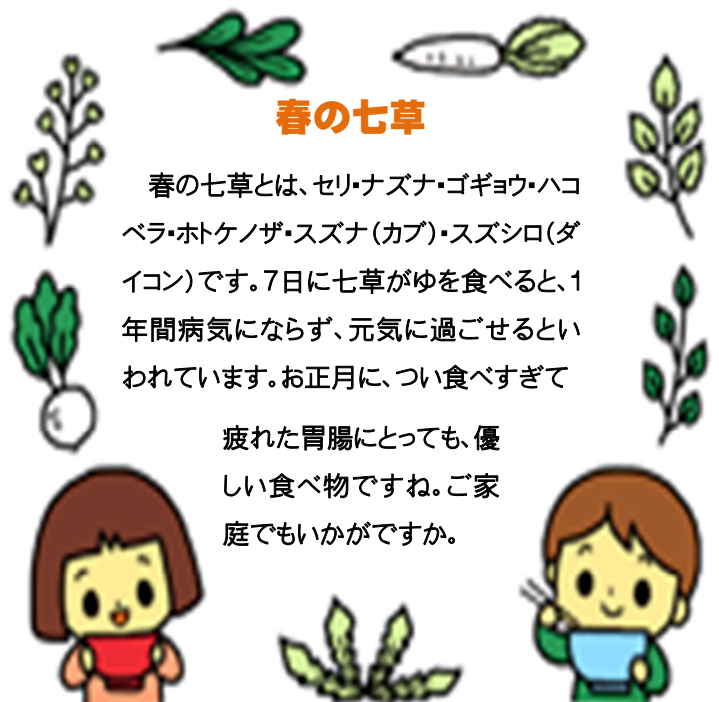


- 15日(火) 英語であそぼう
- 17日(木) 絵本読み聞かせ
- 22日(火) 保育参観
* 詳細はお知らせ済みです。
- 25日(金) 避難訓練
- 29日(火) 誕生日会
- 30日(水) 人形劇鑑賞
am10:00~
* 保護者の皆様、弟妹さんもどうぞ来て下さい。

春の七草

春の七草とは、セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ(カブ)・スズシロ(ダイコン)です。7日に七草がゆを食べると、1年間病気にならず、元気に過ごせるといわれています。お正月に、つい食べすぎて

疲れた胃腸にとっても、優しい食べ物ですね。ご家庭でもいかがですか。





子ども達には内緒ですが…クリスマス会に来てくれるサンタさんは黒田の区長さんです。お忙しい中、子ども達のためにありがとうございます。いつも地域の方に見守っていただき、ありがとうございます。

寒さに負けない体作り

寒い日が続きますが、「寒い、寒い」と背中を丸めて部屋に閉じこもっているだけでは、丈夫な体は作れません。園では寒い日でも外に出て、冷たい空気を胸に受けながら遊ぶようにしています。また、寒いからといって厚着をしすぎると、汗が乾かず風邪をひきやすくなるので、なるべく薄着で過ごすことも心がけています。寒い時期こそ思い切り体を動かしましょう。



ひよこ組 (0・1歳児)

遊びの中で「色」の存在に気付きはじめた子ども達。ジュースを手に取り「わたしピンクにする～！いちごあじ～！」「わたしはむらさき～！」と好きな色を手にとって遊んでいます。また、カラーセロハンを使ったおもちゃをのぞくと見える色の世界にも興味をもち楽しんでいきます。光を通すと見えてくる色の影を追いかけるのにも夢中です！子どもの探索意欲が高まるような環境を考えていきたいです。



いちご組 (2歳児)

室内遊びでは、粘土を使って遊ぶことを楽しんでいきます。一人ひとりが思い思いのイメージを持ち、細長く伸ばして「へび！」丸めて「雪だるま！」と声に出しています。友だちや保育者と作った物を見せ合うことを楽しんだり、一人で集中して取り組んだり、思い通りに型が抜けなくても、もう一度チャレンジするあきらめない姿にちょっぴりお兄さんお姉さんらしさが見られるいちご組です。自分でしたい気持ちを大切に援助していこうと思います。



年少 (3歳児)

日々、寒さが増してきましたが、ぱんだ組、こあら組の子ども達は元気いっぱいです。しっぽ取りや鬼ごっこをしたり、もぐもぐ畑でサッカーや土手滑りをして元気に遊んでいます。少しずつルールのある遊びを経験し、集団遊びが楽しくなったり、使いたい玩具の順番待ちができるようになってきました。友だちと一緒に遊ぶのって楽しいなと感じられる経験をたくさんできるように関わっていきたいと思います。



年中 (4歳児)

「いらっしゃいませ〜」最近はそのような声がたくさん聞こえてくる年中児。自分たちで「あれが作りたい！」とケーキやクレープを作ってお店屋さんごっこを楽しんでいます。「お客さんはお金がいるね！」と気づきお金を作ったりするなど、自分たちで工夫して遊ぶ姿に成長も感じられます。時には「ぎょうざとビールどうぞ！」とユーモアあふれるお店屋さんもあります。子ども達の「やりたい！」という気持ちを大切に、一緒に考え、出来た達成感や自分たちで作っていく楽しさなどを味わえるように関わっています。



年長 (5歳児)

日々の保育の中で、4月から同じ保育室で一緒に過ごしてきた年長ぞう組・くま組。各クラスでの活動時間があつた発表会前は、一緒に遊ぶ時間がいつもより少なくなっていました。発表会が終わった後は、一緒に遊ぶ時間はたっぷり。その中で、新しく子ども達が考えた「ゾンビ鬼」が始まりました。ゾンビになりきったり、意見を出し合っただ子ども達でルールを考えたり、発表会での経験を活かしながら楽しんでいます。ちょっとした意見の食い違いなどは、子ども達で解決できる様子を見ながら関わっていきます。

